2025年９月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年８月８日

上場会社名　株式会社スプリックス　上場取引所　東
コード番号　7030　ＵＲＬ　https://sprix.inc/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）常石　博之
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　（氏名）平井　利英　ＴＥＬ　03(6416)5476

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2025年９月期第３四半期の連結業績（2024年10月１日～2025年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年９月期第３四半期	24,915	9.4	761	394.6	782	309.0	417	－
2024年９月期第３四半期	22,781	4.7	153	29.2	191	60.1	27	－

（注）包括利益　2025年９月期第３四半期　410百万円　（1,510.0%）　2024年９月期第３四半期　25百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年９月期第３四半期	23.71	23.67
2024年９月期第３四半期	1.58	1.57

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年９月期第３四半期	19,618	9,304	47.2
2024年９月期	20,448	9,562	46.5

（参考）自己資本　2025年９月期第３四半期　9,262百万円　2024年９月期　9,517百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年９月期	－	19.00	－	19.00	38.00
2025年９月期	－	19.00	－		
2025年９月期（予想）				19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2025年９月期の連結業績予想（2024年10月１日～2025年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	6.7	1,600	46.3	1,600	41.1	850	70.0	48.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：有
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年９月期３Ｑ	17,971,200株	2024年９月期	17,778,150株
②　期末自己株式数	2025年９月期３Ｑ	336,085株	2024年９月期	337,085株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2025年９月期３Ｑ	17,604,886株	2024年９月期３Ｑ	17,428,692株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第３四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、景気は緩やかに回復しておりますが、米国の通商政策等に不透明感が見られます。

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっております。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要があります。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化が進むなかで、様々な教育制度改革が進行しております。また、あらゆる産業でアナログからデジタルへの転換、サービスの在り方が見直されるなか、IT技術の活用等による新たな教育・指導形態の必要性も一層高まってきております。また、私立高校実質無償化や指定校推薦や総合型選抜といった受験環境の多様化に伴い、業界としての対応が求められております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は24,915百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は761百万円（前年同期比394.6%増）、経常利益は782百万円（前年同期比309.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は417百万円（前年同期比1,411.5%増）、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費）は1,481百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

セグメント情報は次の通りです。

「森塾」

中核事業である個別指導形式の学習塾「森塾」におきましては、当第３四半期連結会計期間末において241校舎（前年同期比20校舎増）展開しております。生徒数が堅調に推移した結果、当第３四半期連結会計期間末における「森塾」在籍生徒数は51,664人と、前年同期比5,616人増となりました。

	前第３四半期 連結累計期間	当第３四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注１）	11,920百万円	13,450百万円	12.8%増
セグメント利益（注１、２）	2,755百万円	3,229百万円	17.2%増
EBITDA（注３）	2,862百万円	3,352百万円	17.1%増
校舎数	221校舎	241校舎	20校舎増
生徒数	46,048人	51,664人	5,616人増

注１）売上高は外部顧客への売上高、及びセグメント利益は、セグメント間取引の相殺前の数値であります。

注２）セグメント利益は、無形固定資産の償却費を反映しております。

注３）EBITDAは、営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費であります。

「湘南ゼミナール」

集団指導形式の学習塾「湘南ゼミナール」におきましては、当第３四半期連結会計期間末において198校舎（前年同期比５校舎減）を展開しております。小学生のコンテンツ拡充およびマーケティング強化を図った結果、当第３四半期連結会計期間末における「湘南ゼミナール」在籍生徒数は18,432人（前年同期比409人増）となりました。

	前第３四半期 連結累計期間	当第３四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	6,363百万円	6,496百万円	2.1%増
セグメント利益	277百万円	378百万円	36.5%増
EBITDA	598百万円	568百万円	5.0%減
校舎数	203校舎	198校舎	5校舎減
生徒数	18,023人	18,432人	409人増

「河合塾マナビス」

講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾である「河合塾マナビス」におきましては、当第３四半期連結会計期間末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして51校舎（前年同期比増減なし）を展開しております。生徒数が堅調に推移した結果、当第３四半期連結会計期間末における「河合塾マナビス」在籍生徒数は4,723人（前年同期比358人増）となりました。

	前第３四半期 連結累計期間	当第３四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	1,953百万円	2,075百万円	6.3%増
セグメント損失（△）	△96百万円	△37百万円	―
EBITDA	70百万円	121百万円	72.8%増
校舎数	51校舎	51校舎	増減なし
生徒数	4,365人	4,723人	358人増

「その他」

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」「自立学習ＲＥＤ」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレスタシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

「自立学習ＲＥＤ」は、教育ITを利用した学習塾であり、当第３四半期連結会計期間末において直営６教室（前年同期比増減なし）、FC208教室（前年同期比２教室減）を展開しております。

また、「その他」に含まれる教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレスタシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集webサイト「塾講師ＪＡＰＡＮ」などの既存事業がいずれも堅調だったことに加え、AIタブレットで基礎学力を養成する「ＳＰＲＩＸ　ＬＥＡＲＮＩＮＧ」「ＤＯＪＯ」や、サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、19,618百万円（前連結会計年度末比829百万円減）となりました。主な要因は、商品及び製品が161百万円並びに建物及び構築物が228百万円増加したものの、未収入金が1,175百万円減少したことなどによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、10,314百万円（前連結会計年度末比571百万円減）となりました。主な要因は、未払金が798百万円増加したものの、前受金が1,104百万円減少したことなどによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、9,304百万円（前連結会計年度末比258百万円減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益417百万円の計上により増加したものの、配当金の支払いにより666百万円減少したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年11月12日の「2024年９月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2024年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,359	5,152
売掛金	374	381
商品及び製品	326	487
仕掛品	66	11
貯蔵品	26	44
未収入金	2,619	1,443
その他	1,082	1,004
貸倒引当金	△48	△73
流動資産合計	9,806	8,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,591	3,819
土地	489	489
その他（純額）	160	238
有形固定資産合計	4,240	4,547
無形固定資産		
のれん	2,183	1,947
ソフトウエア	173	171
その他	746	817
無形固定資産合計	3,103	2,936
投資その他の資産		
投資有価証券	276	294
繰延税金資産	727	883
敷金及び保証金	2,045	2,100
その他	246	403
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,297	3,682
固定資産合計	10,641	11,166
資産合計	20,448	19,618

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2024年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	150	104
未払金	1,468	2,267
短期借入金	717	1,046
１年内返済予定の長期借入金	363	363
未払法人税等	418	313
未払消費税等	452	351
前受金	4,590	3,486
賞与引当金	440	451
その他	618	483
流動負債合計	9,221	8,867
固定負債		
長期借入金	429	156
役員退職慰労引当金	75	76
退職給付に係る負債	127	142
資産除去債務	1,032	1,071
固定負債合計	1,664	1,447
負債合計	10,886	10,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,444	1,453
資本剰余金	1,434	1,443
利益剰余金	7,013	6,746
自己株式	△377	△377
株主資本合計	9,516	9,267
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	1	0
為替換算調整勘定	－	△5
その他の包括利益累計額合計	1	△5
新株予約権	44	41
純資産合計	9,562	9,304
負債純資産合計	20,448	19,618

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2023年10月１日 至　2024年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2024年10月１日 至　2025年６月30日）
売上高	22,781	24,915
売上原価	15,992	17,543
売上総利益	6,788	7,372
販売費及び一般管理費	6,634	6,610
営業利益	153	761
営業外収益		
受取利息	0	2
持分法による投資利益	31	17
業務受託料	1	0
助成金収入	0	1
その他	14	10
営業外収益合計	48	32
営業外費用		
支払利息	5	10
支払手数料	0	0
その他	5	1
営業外費用合計	10	12
経常利益	191	782
特別利益		
新株予約権戻入益	3	2
固定資産売却益	－	0
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除却損	5	－
減損損失	17	－
特別損失合計	22	－
税金等調整前四半期純利益	172	784
法人税、住民税及び事業税	333	522
法人税等調整額	△188	△155
法人税等合計	145	367
四半期純利益	27	417
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	27	417

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2023年10月１日 至　2024年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2024年10月１日 至　2025年６月30日）
四半期純利益	27	417
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△2	△1
為替換算調整勘定	－	△5
その他の包括利益合計	△2	△7
四半期包括利益	25	410
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	25	410
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）等を第１四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2023年10月１日 至　2024年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2024年10月１日 至　2025年６月30日）
減価償却費	585百万円	459百万円
のれんの償却額	295百万円	234百万円

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2023年10月１日　至　2024年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結財務諸表（注３）
	森塾	湘南ゼミナール	河合塾マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	11,920	6,363	1,953	20,237	2,543	22,781	－	22,781
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	11,920	6,363	1,953	20,237	2,543	22,781	－	22,781
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	2	2	△2	－
計	11,920	6,363	1,953	20,237	2,546	22,784	△2	22,781
セグメント利益又は損失（△）	2,755	277	△96	2,935	△898	2,037	△1,883	153

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習ＲＥＤ」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレスタシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額△1,883百万円には、のれんの償却額△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント、その他に帰属しない販売費および一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2024年10月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結財務諸表（注３）
	森塾	湘南ゼミナール	河合塾マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	13,450	6,496	2,075	22,022	2,893	24,915	－	24,915
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	13,450	6,496	2,075	22,022	2,893	24,915	－	24,915
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	14	14	△14	－
計	13,450	6,496	2,075	22,022	2,907	24,930	△14	24,915
セグメント利益又は損失（△）	3,229	378	△37	3,571	△946	2,624	△1,863	761

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習ＲＥＤ」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレスタシリーズの販売、「東京ダンスヴィレッジ」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失の調整額△1,863百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメント及びその他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。